

第42回福島県中学校新人ソフトテニス大会（個人）

第32回学校対抗福島県中学新人ソフトテニス大会（団体）

競技要項

- 1 **主 催** 福島県ソフトテニス連盟
- 2 **共 催** 福島市教育委員会
- 3 **後 援** 郡山市教育委員会 福島県中学校体育連盟 福島民友新聞社 福島民報社
- 4 **主 管** 福島県県北ソフトテニス連盟
福島県ソフトテニス連盟強化委員会中学強化部
- 5 **協 賛** 株式会社ルーセント ナガセケンコー株式会社
- 6 **期日・会場**

個人戦	令和4年11月 5日（土）	男子の部
	令和4年11月 6日（日）	女子の部
	令和4年11月19日（土）	男女の部（選抜・個人戦団体戦予備日）
団体戦	令和4年11月12日（土）	男子の部
	令和4年11月13日（日）	女子の部

7：10開場 7：40練習開始 8：20受付終了・監督会議
8：50競技開始 競技終了後表彰式
- 7 **会 場**

11 / 5(土)	11 / 6(日)	あづま総合運動公園庭球場14面
11 / 12(土)	11 / 13(日)	あづま総合運動公園庭球場14面
11 / 19(土)		郡山庭球場16面
- 8 **試 合 方 法**

個人戦	11月5日・6日は、3ペア×32ブロックによる予選リーグ(7回ゲーム)、各ブロック1位ペアによる決勝トーナメント戦(7回ゲームを原則とする)。荒天時は全てトーナメント戦で行うこともある。各地区男女16組の合計男女各96組。
団体戦	11月19日は、個人戦の男女ベスト8+推薦8組 合計男女各16組によるリーグ戦。 学校対抗の3チーム×8ブロックによる予選リーグ(7回ゲーム)、各ブロック1位校による決勝トーナメント戦(7回ゲームを原則とする)。 荒天時は全てトーナメント戦で行うこともある。各地区男女4校の合計男女各24校。
- 9 **参 加 資 格**
 - (1) 福島県の中学校に在学しており、各地区ソフトテニス連盟より推薦されたチームの中学1・2年生であること。異なる中学校でのチーム構成は認めない。
 - (2) 日本ソフトテニス連盟に会員登録を行った生徒であること。
 - (3) 日本ソフトテニス連盟のジュニア審判資格を取得していること。
 - (4) 日本ソフトテニス連盟の技術等級(3級以上)を取得していることが望ましい。
 - (5) 団体戦の1チームとは、同一校の選手6名以上8名以内(対戦の過半数を超える場合は可とする)と監督1名(外部コーチ1名)で構成する。
- 10 **外 部 コ ー チ に つ い て**

外部コーチは、校長の認めた者とする。外部コーチについては監督の代わりにベンチ入りすることを認める。その際、教育的な指導の範囲を超えた選手への指導をしてはならない。ただし、他の中学校の教職員・校長の外部コーチとしてのベンチ入りは認めない。
- 11 **参 加 料** 個人戦 1組 2000円 団体戦1チーム5000円
(大会当日受付時に納入すること。保険料を含む)
- 12 **競 技 上 の 規 定 及 び 方 法**
 - (1) 現行の日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」による。
 - (2) 使用球は個人戦はケンコー・団体戦はアカエムの白ボールとする。
 - (3) 個人戦の際、ベンチには監督または外部コーチ1名のみ入ることを認める。
 - (4) コーチはサイドのチェンジ及びファイナルゲームに入る場合のみ認めるが1分以内に次のゲームを始める。(45秒でレッツプレイ)
 - (5) 服装は日本ソフトテニス連盟公認(中体連規定)のものとする。上は半袖スポーツシャツ、下は膝より上のパンツ・スカート等、ウエアーの背中に福島県ソフトテニス連盟のゼッケンを着用すること。アンダーウエアーは着用を可とする。ただし、単色のものに限る。競技中にシャツの裾を外に出したり、袖をまくることはしない。

- (6) 学校名や校章などの記入がされているウェアの使用は認めない。(隠すこと)
- (7) ソックスは、華美でないものとする。ハイソックスは認めない。
- (8) 選手(監督・コーチも含む)は、テニスシューズを使用する。
- (9) 腕や帽子の見える部分などに、書き込み等をしないこと。
- (10) 身体の故障時のタイムでは、選手の他に監督(コーチ)や救護などの手当てを認める。
- (11) 基本的に生徒審判になるので、審判のときは必ずジュニア審判のワッペンを着用すること。
- (12) 医療用具について、キネシオテープは白色またはベージュ色、テーピングは白色とする。また、サポーターは白色または黒色とする。アンダーウェアも医療用具となる。

13 表彰 個人戦は、第5位(ベスト8)まで、団体戦は第3位(ベスト4)までを表彰する。

14 競技上の規定及び方法

- (1) 会場使用上の注意
 - ① 朝の会場練習については後日各地区の専門委員長を通して連絡する。
 - ② 会場周辺の道路・駐車場・空き地でのボールを使った練習は禁止する。
 - ③ ゴミはすべて持ち帰りとする。
 - ④ 会場周辺の駐車場が少ないので、できるだけ公共交通機関を利用すること。
 - ⑤ 会場周辺の一方通行や時間帯進入禁止に指定されている道路に注意すること。
- (2) 万一の事故発生に備え、各学校で傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。各自、保険証を持参することが望ましい。
- (3) 団体戦の男女ベスト8に入賞した学校は、【男子の部】12月10日(土)【女子の部】11日(日)に本宮市総合体育館で行われる福島県中学校インドアソフトテニス大会の出場権を得る。
- (4) 申込書に記載する選手氏名・学校名・学年等の情報は、本大会プログラムに掲載し、公表するとともに、大会結果集約に利用する。また、成績上位者については、報道発表並びにホームページに記載する。申込書に記載する情報に同意が得られない場合等、事情がある場合は、各中学校顧問を通して県連盟および事務局に連絡をする。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとする。

15 申込先 県北：〒964-0884 二本松市大作165 二本松市立二本松第三中学校 二階堂裕之 宛
 県中：〒962-0816 須賀川市朝日田54 須賀川市立第三中学校 櫻井一也 宛
 県南：〒961-8061 西白河郡西郷村大字小田倉字上野原459番地1 西郷村立西郷第二中学校 小林慎司 宛
 相双：〒979-2333 南相馬市鹿島区寺内字落合28 南相馬市立鹿島中学校 福尾淳 宛
 いわき：〒979-0141 いわき市勿来町窪田字伊賀屋敷102-2 いわき市立勿来第一中学校 滝澤英雄 宛
 会津(大会事務局)：〒965-0803 福島県会津若松市城前1-7
 会津若松市立第二中学校 高橋 邦幸 宛
 TEL 0242-27-0715 FAX 0242-29-3400
 メール takahashi.kuniyuki@fcs.ed.jp

16 申込締切 団体戦・個人戦：令和4年10月18日(火) 郵送必着(各地区専門委員長の学校へ)
 ※ 大会要項、参加申込用紙および選抜選考会等の承諾書を以下のアドレスからダウンロードして作成すること。過年度の申込書等は使用しないこと。
(福島県中学生ソフトテニスのページ) <http://fukushima-jst.sakura.ne.jp/>
 ※ 申し込みが締め切り間際になる場合はFAXかメールで地区専門委員長へ送ること。その際、後日必ず申込書を郵送すること。期日内に申し込み・連絡がなされない場合は、棄権したものとみなす。

17 雨天時の連絡先 各地区専門委員長へ連絡を取り確認する。地区大会などで連絡先を確認すること。
 ※ 各地区の専門委員長を通して、6:00~6:30に問い合わせること。
 基本的には、会場集合となる。個人戦・団体戦の予備日は男女とも**19日**となる。

18 その他

- (1) 本大会の参加者は、参加者遵守事項(別記)を確認し、感染防止策チェックリストに必要事項記入の上、大会受付に提出すること。選手・監督・外部コーチ分に関しては、各校で1枚にまとめること。入場口の混雑を解消するため、必ず事前にチェックリストに記入し持参すること。
- (2) 登録選手(サポートメンバー2人まで)、監督・外部コーチ、保護者(選手1名につき2名まで)、大会関係者以外の入場を禁止とします。
- (3) 宿泊・弁当については、斡旋しないので各校で必要に応じて申し込むこと。
- (4) ゼッケンについては、福島県ソフトテニス連盟のゼッケン(3段)を着用すること。背中・B5横判(白地)の大きさに学校名と姓を書き、校名に「中」はつける。文字は「漢字」もしくは「仮名」を使用し、シャツそのものへのプリントは認めない。また、必ず四隅を止めること。安全ピンで可。

連盟の3段
ゼッケン



上 1 / 4 に県名 (県は不要)

中央 2 / 4 に姓 (同姓がいる場合は、最初の文字を書く)

下 1 / 4 に学校名 (『中』をつける)

※参加者遵守事項

- ア、体調の報告 (発熱、咳、咽頭痛、味覚・嗅覚異常、腹痛、頭痛等)
- イ、当日の2週間前までにおける発熱などの感染症状の有無
- ウ、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方の有無の報告
- エ、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無の報告
- オ、マスクの持参、着用、個人専用タオル、水分の持参
- カ、こまめな手洗い、アルコール消毒の実施
- キ、参加者、主催者との距離 (2 m) の確保
- ク、大きな声での会話、応援の禁止
- ケ、大会前後のミーティング等での密を避ける
- コ、感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う
- サ、体調確認事項書面の提出
- シ、大会終了後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告することと、関係機関に公表する可能性があることを了承したうえで大会に参加すること
- ス、日程を終了したペア(学校)から順次解散すること
- セ、保護者は受付で配布するリストバンドを着用すること